



⑧体育館を仕切った教室で勉強する古川第一小学校の子どもたち⑨建設中の古川東中学校の仮設校舎⑩美しい音色で鍵盤ハーモニカを奏でてくれたトミーさん（左から三人目の演奏者）とコンサートを楽しむ子どもたち⑪鹿島台産のおいしい食材を自衛隊の皆さんに提供しました

学校
古川第一小学校は、木造校舎が大きな被害を受け、使用できなくなりました。そのため、四月十三日から同小学校の体育館で、三年生と四年生が勉強しています。現在、七月から仮設校舎で授業ができるように、準備を進めています。

まで、古川西中学校、古川北中学校、古川南中学校の三校へ学年ごとに分かれて通学しています。仮設校舎は、七月の完成を目指し、古川東中学校に隣接する古川総合体育館の敷地内に建設中です。

した。阪神・淡路大震災を経験した鍵盤ハーモニカ奏者のトミーさんが「かえるの歌」「赤とんぼ」などを演奏し、ひとときの安らぎを与えてくれました。



建物
家屋の修復作業が各地域で行われています。家屋の被害は、六月十七日現在、全壊四二二棟、大規模半壊一一六棟、半壊九七五棟、一部損壊二八三三棟となっています。

道路
古川地域と松山地域をつなぐ志田橋は、大きな被害を受け通行止めとなっています。付近の道路は地震で大きく亀裂が入り陥没していました。六月中に復旧し、車が通行できるようになりました。そのほかの道路も、整備を進めています。

復興に向けた話し合い
大崎市では、甚大な被害から復興し、新しいまちづくりの指針となる震災復興計画の策定を進めるため「大崎市震災復興市民会議」を設置しました。六月十六日には、第一回目の会議が行われ、復興に向けたまちづくりについて話し合われました。被害のあった旧有備館及び庭園の復旧に向けた懇談会も六月七日に開催されました。修復後の活用策などを、これから数回にわたり検討していきます。



①城下町の風情を感じさせる建物の復旧作業（松山地域）②お墓の修理（田尻地域）③みちのく古川食の蔵「醸室（かむろ）」の復旧作業④地震直後の志田橋付近の道路（松山地域）⑤復旧した志田橋付近の道路⑥大崎市震災復興市民会議⑦崩れた旧有備館の母屋を視察する懇談会の委員